

第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会 北海道代表決定戦
大会参加基準

北海道バレーボール協会

1 参加辞退・自粛（個人）基準

- 1) 以下に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - (1) 体調がよくない場合（発熱、咳、咽喉痛などの症状がある場合）
 - (2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- 2) 学校休業等による場合
 - (1) 陽性者、濃厚接触者、検査対象者は、保健所または医療機関からの許可があるまで大会に参加できない。
 - (2) 上記以外の当該校の関係者についても、原則として休業期間中は大会に参加できない、または検査結果が陰性であり、行動制限を伴わない場合は、専門家の意見を聞きながら十分に審議し出場の可否を当該校の学校長が判断する。

2 出場辞退（チーム）判断基準

- 1) 大会開催前2週間以内に、チームに感染者がでた場合
- 2) 各会場入口の検温で37.5℃以上の体温があった場合
- 3) 大会期間中にチーム内に発熱者が出た場合
- 4) 大会期間中に対戦チームに発熱者が出た場合
- 5) 上記について、辞退の判断は保健所からの指示や当該学校の学校長の判断とする。

3 大会中止基準

- 1) 道・自治体・道協会・会場管理者等から大会の中止措置等の要請があった場合
- 2) 保健所より中止の要請があり関係各所と協議し中止と判断した場合
- 3) 大会役員を一定数以上確保できなくなった場合
- 4) 中止については、男女別に判断することもある

4 大会中止による「全国選手権大会」出場校決定について

- 1) 中止の場合は、中止となった時点で勝ち残っているチームの中から、直近の高体連全道大会の結果をもとに道協会・道高体連バレーボール専門部で検討し出場校を決定する。

5 再抽選について

下記のような場合、抽選のやり直しを行う。再抽選は監督主将会議時に行う。

- 1) 大会前々日（11月9日）までに男子6チーム以上、女子7チーム以上の棄権があった場合（参加校の20%）
- 2) 大会前々日（11月9日）までにトーナメント表の4分の1ゾーンで3チーム以上の棄権があった場合

※ シードチームが棄権した場合シードを繰り上げる。